

2020年7月 イーアイデム会員対象 アンケート結果

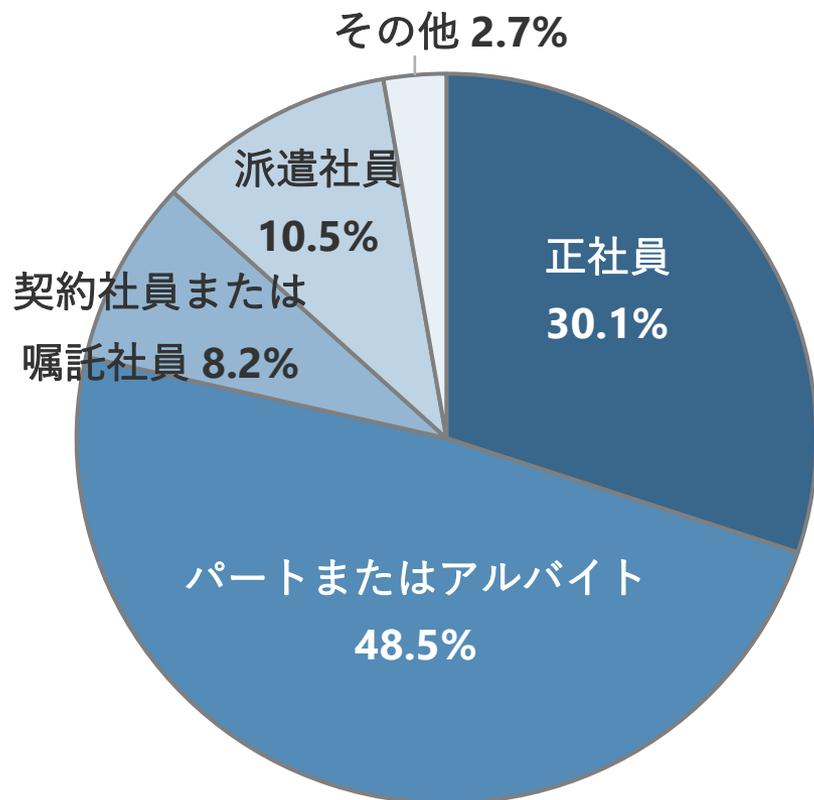
TOPICS

新型コロナウイルス感染症の影響で仕事探しをしている人は53.1%
20代以下の4割、面接は「オンライン」を希望

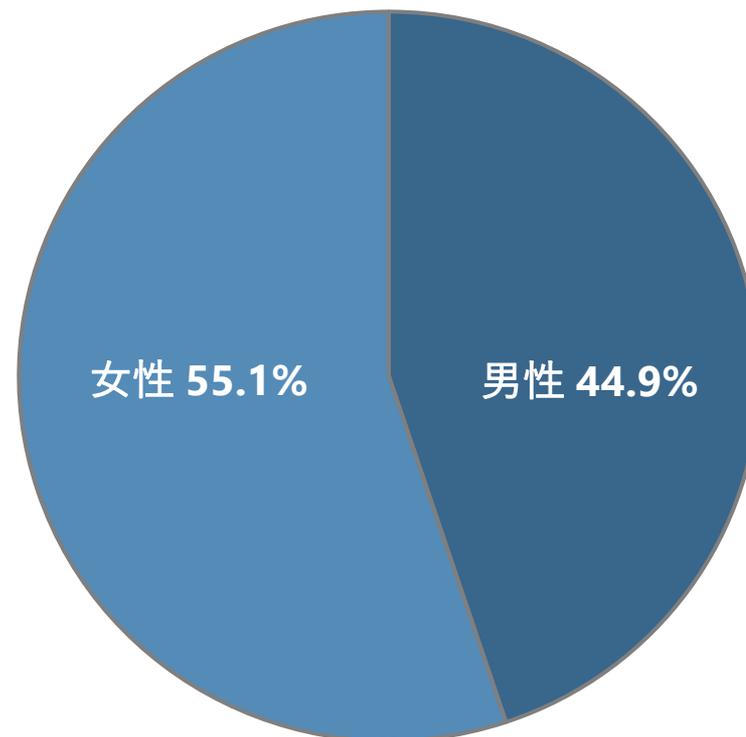
株式会社アイデム
東日本事業本部 データリサーチチーム

- 調査名
 - ▶ 【イーアイデム会員限定】 お仕事探しに関するアンケート
- 調査目的
 - ▶ 現在の求職者の状況を把握し、今後のサービス向上・商品開発につなげる
- 調査対象
 - ▶ 総合求人サイト「イーアイデム」の会員で、2020/07/01～07/31の期間にイーアイデムから何らかの求人に応募した人
- 調査期間
 - ▶ 2020/07/02～2020/08/06(36日間)
- 調査方法
 - ▶ インターネットリサーチ
(株式会社マクロミル「クエスタント」を使用)
- 有効回答数
 - ▶ 439件

希望する雇用形態



性別



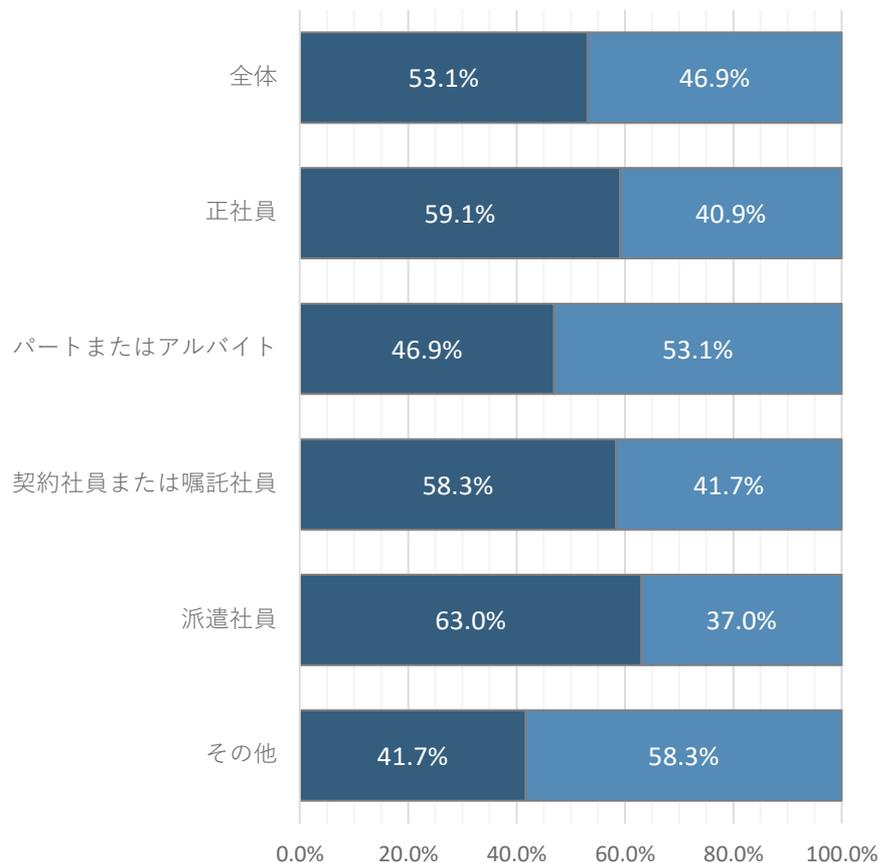
イーアイデムから求人に応募した人に、今回仕事探しをしている理由に「新型コロナウイルス感染症の影響」は関連しているかきいた。

全体で53.1%が「はい」と回答し、半数以上の回答者が新型コロナウイルス感染症の影響を受けて仕事探しをしていたことがわかった。4月調査時と比較すると、61.8%から8.7ポイント減少している。

希望雇用形態別にみると、特に「派遣社員」を選択した人では、他の雇用形態希望者よりも新型コロナウイルス感染症の影響を受けて仕事探しをした割合が高くなっていた。

今回仕事探しをしている理由には、新型コロナウイルス感染症の影響は関連していますか。

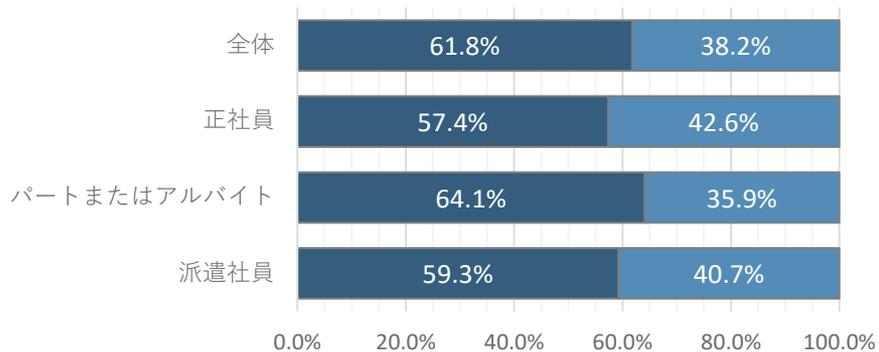
■ はい ■ いいえ



参考

新型コロナウイルス感染症の影響
(2020年4月調査時)

■ はい ■ いいえ



イーアイデムから求人に応募した人に、新型コロナウイルス感染症拡大の前後で仕事を選ぶ際の条件等は変わったかきいた。全体では「何も変わっていない」72.4%と、コロナ禍においても仕事探しの軸に大きな変化がない人が多数となっている。

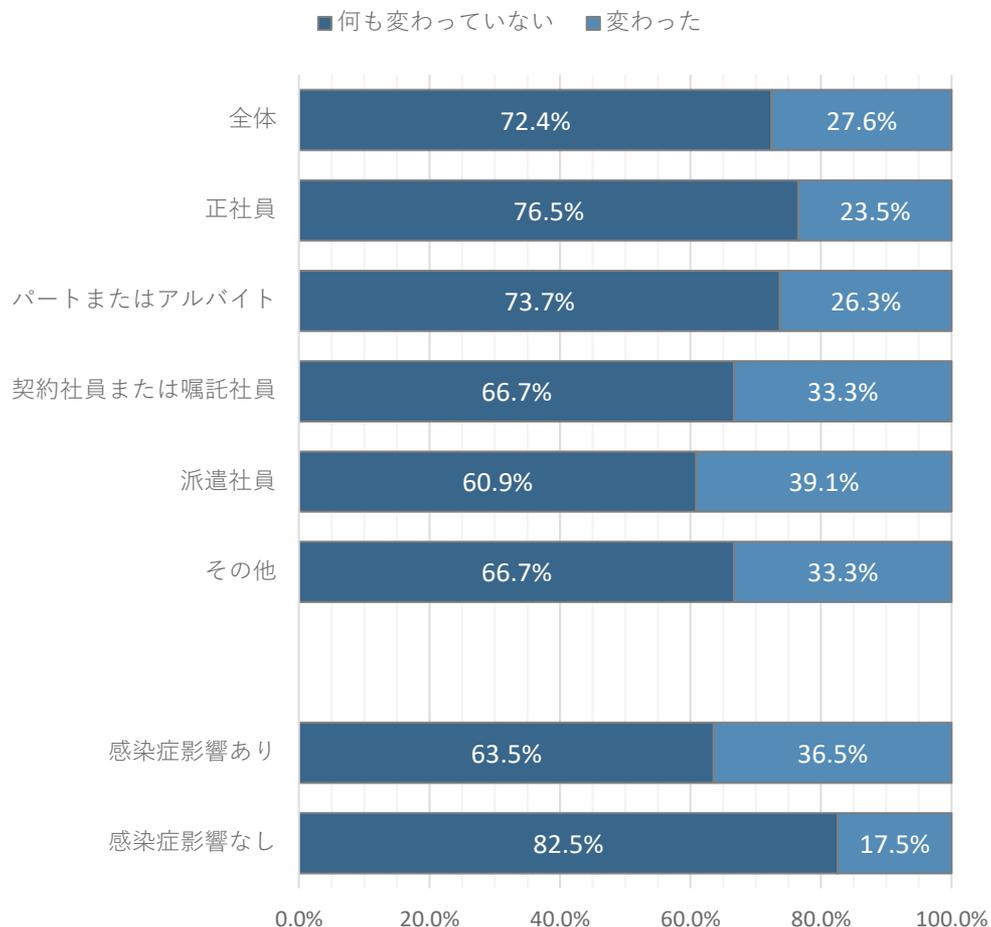
一方、「変わった」人は27.6%だった。希望雇用形態別にみると、特に「派遣社員」を選択した回答者では、他の雇用形態希望者よりも新型コロナウイルス感染症の影響を受けて注目する条件や待遇が変わった割合が高い。

また、今回仕事探しをしている理由に新型コロナウイルス感染症の影響がある人とない人を比較した（P4参照）。「感染症影響あり（『はい』と回答/以下同）」の人は、注目する条件や待遇が「変わった」割合が36.5%と「感染症影響なし（『いいえ』と回答/以下同）」（17.5%）の2倍以上となり、仕事探しでの変化がより大きくなっている。

自由意見

正社員	男性	20代	前職が複数の大手自動車メーカーと連携している製造業に勤めていたので、かなり事業に影響が出たため幅広く職を理解して探してみようという考えになった。
正社員	男性	50代	どんな状況の社会でも安定した、立ち向かえる企業風土、対応出来る会社内の仕組みを持った会社である、その準備が出来る会社。BCPの整える事が出来る会社であれば良いと思います。
正社員	女性	40代	時差通勤を考えるようになった。
パートまたはアルバイト	女性	20代	狭すぎる空間、声をはって話す業種（単発ですとイベントのキャンペーンガールや試飲試食等）への応募はなるべく控えようと感じました。

新型コロナウイルスの感染拡大前と後で、注目する条件や待遇は変わりましたか？

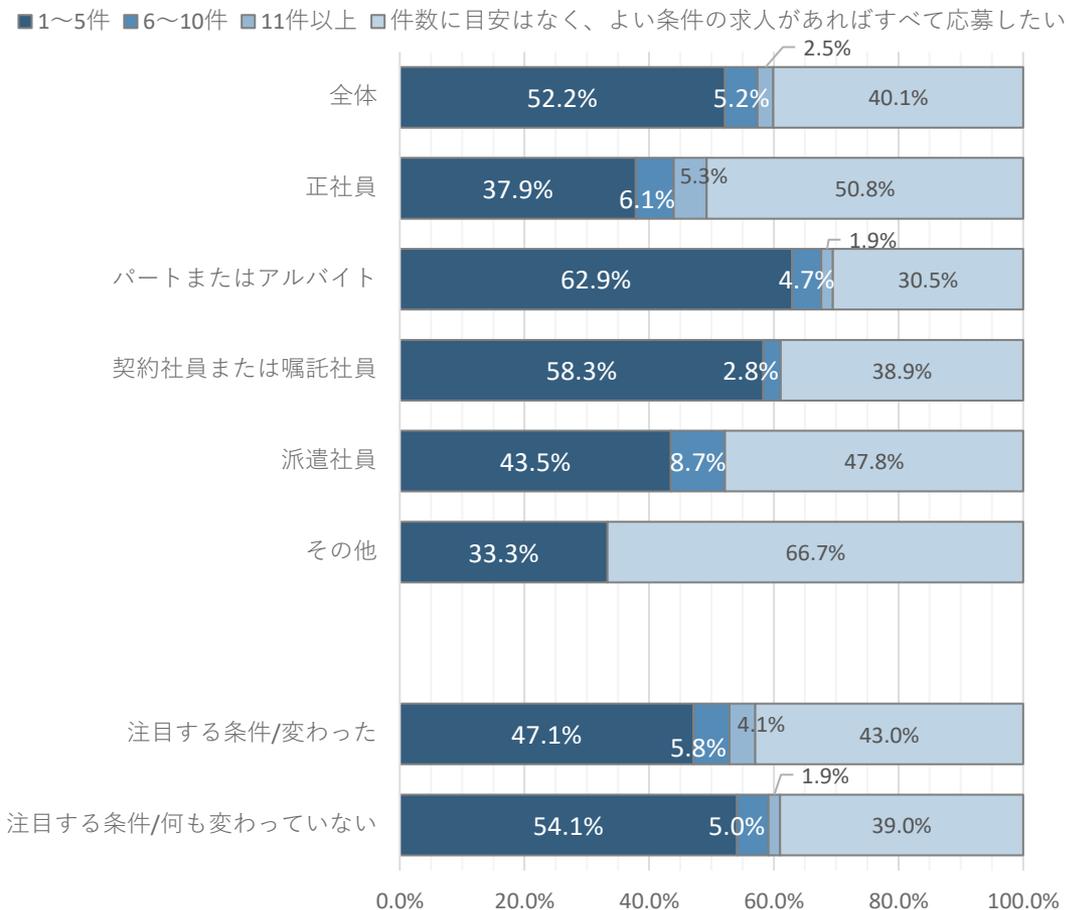


イーアイデムから求人に応募した人に、今回の求職活動期間の中で、求人に応募する件数の目安があるかどうかきいた。全体では、「1~5件」が最も多く52.2%、次いで「よい条件の求人があればすべて応募したい」が40.1%、「6~10件」が5.2%、「11件以上」が2.5%となった。

希望雇用形態別にみると、「正社員」と「派遣社員」では目安を設けていない人が多く、「パートまたはアルバイト」「契約社員または嘱託社員」では「1~5件」と回答する人が多かった。「正社員」では1割以上の方が6件以上を目安に求人に応募しようと考えていて、他の雇用形態よりその割合が多い。

新型コロナウイルス感染症の拡大前後で、仕事探しに関する注目条件・待遇が「変わった」と回答した人（P5参照）では、「何も変わっていない」と回答した人よりも6件以上の応募を検討する割合が多く、目安を設けていない人も多い。

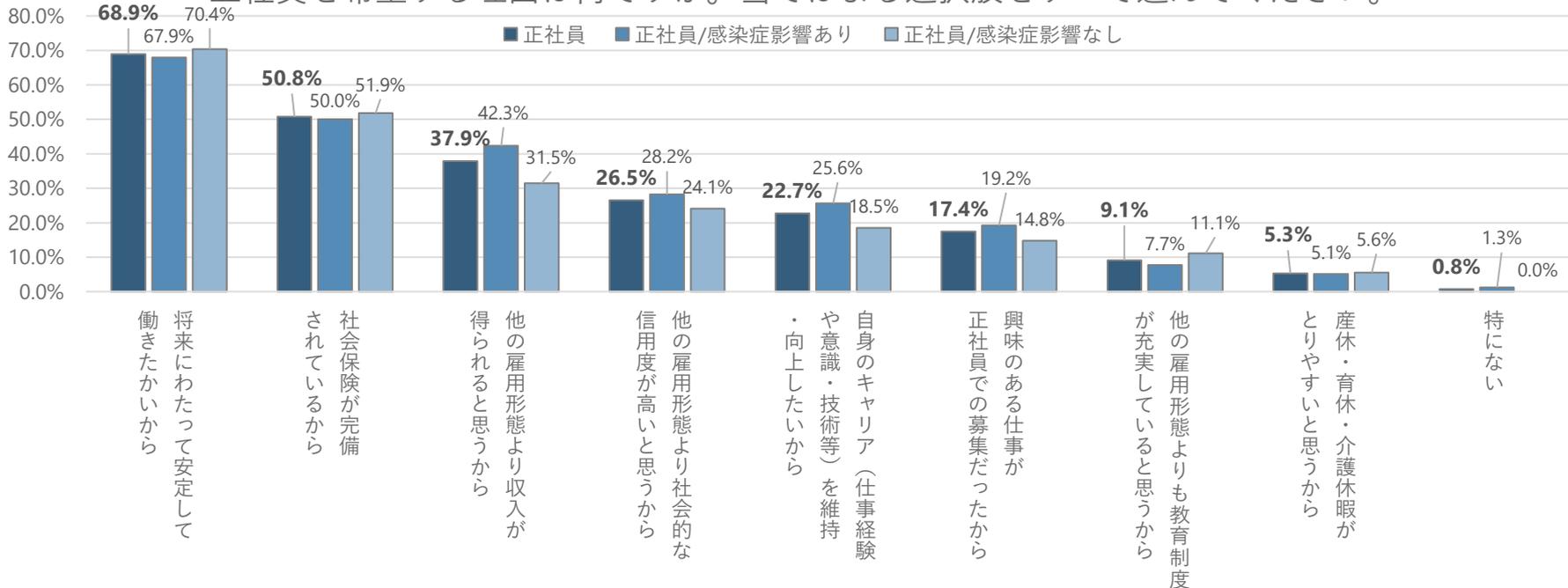
今回の求職活動期間の中で、
およそ何件ほど応募しようと思いますか。



イーアイデムから求人に応募した、正社員雇用を希望する人に、なぜ正社員を希望するのかを聞いた（複数回答）。最も多かったのは「将来にわたって安定して働きたいから」で68.9%、次いで「社会保険が完備されているから」が50.8%、「他の雇用形態より収入が得られると思うから」が37.9%となっている。

仕事探しにおける新型コロナウイルスの影響の有無（P4参照）との関連をみると、「感染症影響あり」の人は「他の雇用形態より収入が得られると思うから」を選んだ割合が、「感染症影響なし」の人より5pt以上高かった。特に「他の雇用形態より収入が得られると思うから」では10.8ptの差があり、収入の多さで正社員を希望している傾向がみられる。新型コロナウイルス感染症対策の影響で、収入が不安定になった労働者が多いことから、一定額毎月得られる正社員がより選ばれやすい状況と考えられる。

正社員を希望する理由は何ですか。当てはまる選択肢をすべて選んでください。

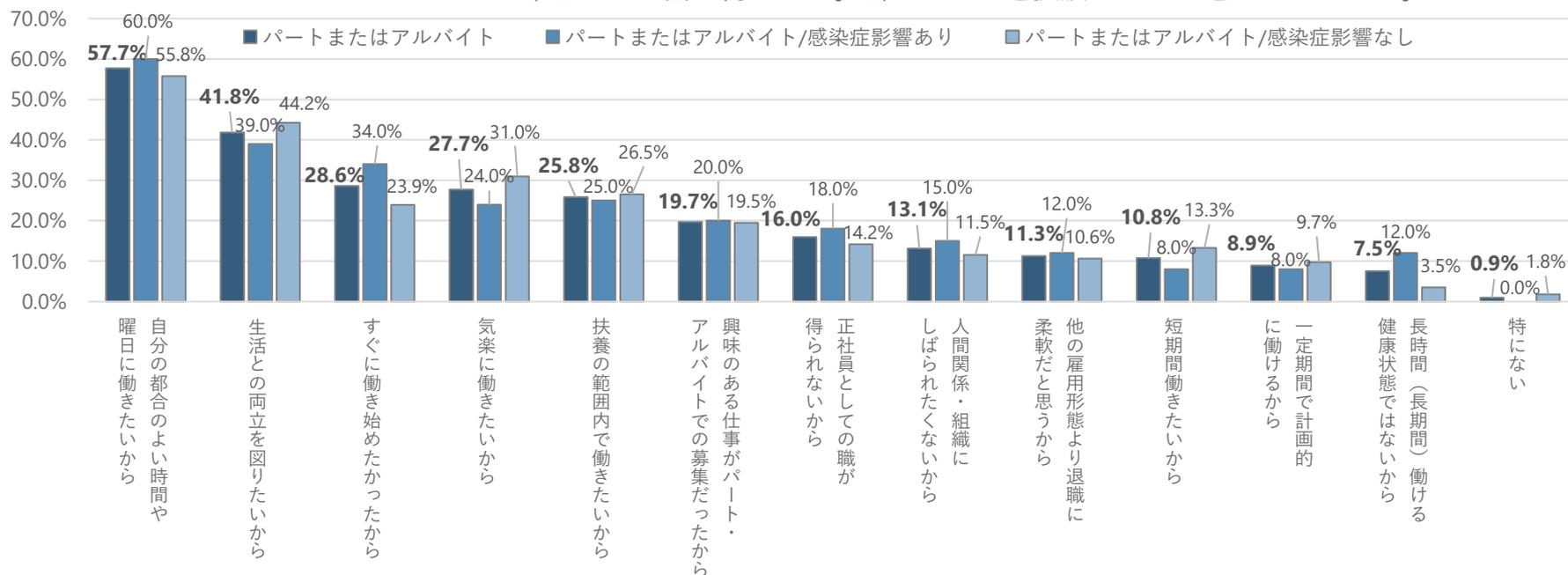


パート・アルバイトを希望する理由

イーアイデムから求人に応募した、パートまたはアルバイトを希望する人に、なぜその雇用形態を希望するのかを聞いた（複数回答）。最も多かったのは「自分の都合の良い時間や曜日に働きたいから」で57.7%、次いで「生活との両立を図りたいから」が41.8%、「すぐに働き始めたかったから」が28.6%となった。おもに、自分のライフスタイルに合わせた働き方を望んでいる、柔軟な働き方を望んでいる人々が、パートまたはアルバイトという雇用形態を選んでいることがわかる。

仕事探しにおける新型コロナウイルスの影響の有無（P4参照）について、「感染症影響あり」の人は「感染症影響なし」の人よりも「すぐに働き始めたかったから」が10.1pt高くなっている。新型コロナウイルス感染症の影響から仕事探しをしている人は、取り急ぎ仕事に就きたい状況である場合が多く、より切迫感が強いことがうかがえる。「感染症影響なし」の人では、「生活との両立を図りたいから」「気楽に働きたいから」「短期間働きたいから」を選ぶ割合が、「感染症影響あり」の人より5pt以上高かった。感染症の影響が関連していない人では、既にある自身の余暇を、心にも無理のない範囲で活かせる仕事を探している人が多いといえる。

パートまたはアルバイトを希望する理由は何ですか。当てはまる選択肢をすべて選んでください。



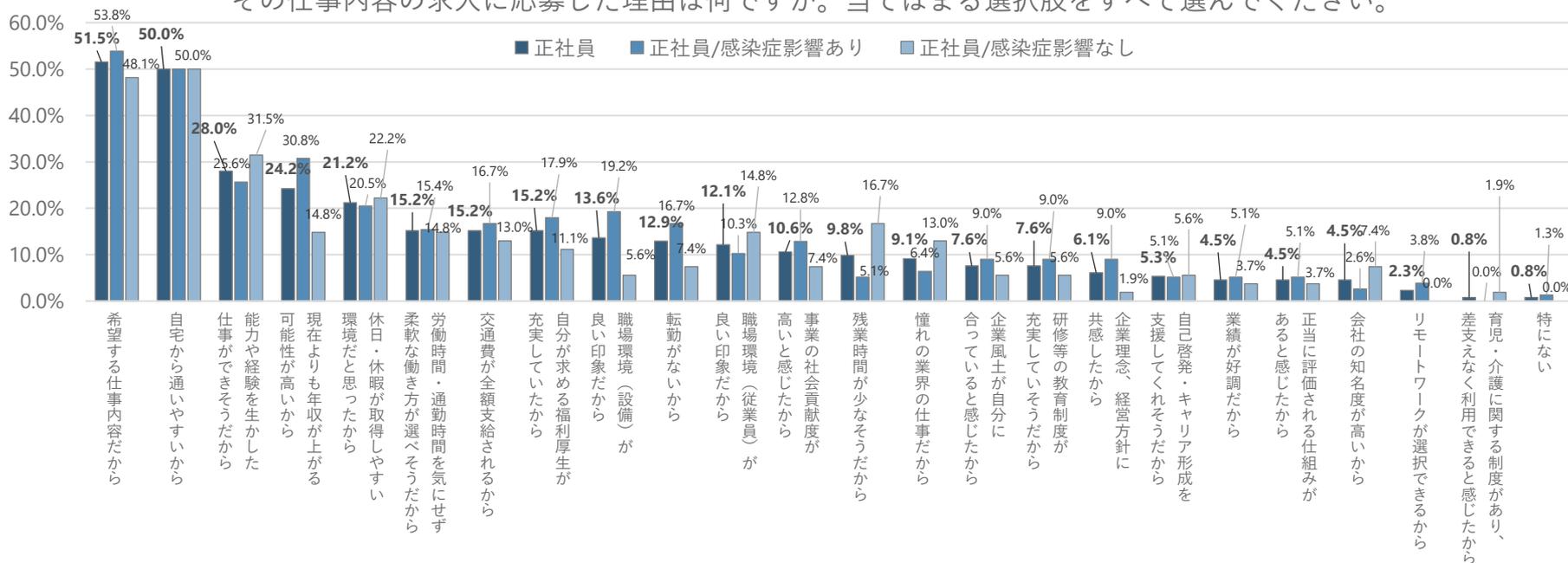
求人に応募した理由（正社員希望の場合）

イーアイデムから求人に応募した、正社員雇用を希望する人に、自身が応募した求人を選んだ理由をきいた（複数回答）。最も多かったのは「希望する仕事内容だから」で51.5%、次いで「自宅から通いやすいから」が50.0%、「能力や経験を生かした仕事ができそうだから」が25.6%となった。

仕事探しにおける新型コロナウイルスの影響の有無（P4参照）との関係を見ると、「感染症影響あり」の人は「感染症影響なし」の人よりも「現在よりも年収が上がる可能性が高いから」「職場環境（設備）が良い印象だから」が10pt以上高かった。収入を増やしたいという意欲や、働く環境を重視する傾向が強い。「希望する仕事内容だから」「自分が求める福利厚生が充実していたから」「通勤がないから」「事業の社会貢献度が高いと感じたから」「企業理念、経営方針に共感したから」も5pt以上高かった。職場環境に関する質問では、従業員環境より設備環境を重視する傾向がある。

「感染症影響なし」の人では、「感染症影響あり」の人よりも「残業時間が少なそうだから」は10pt以上、「能力や経験を生かした仕事ができそうだから」「憧れの業界の仕事だから」は5pt以上高かった。仕事の内容や労働負荷の小ささを重視しているようだ。また、職場環境に関する設問では、「感染症影響あり」の人とは逆に、設備環境より従業員環境を重視する傾向がみられる。

その仕事内容の求人に応募した理由は何ですか。当てはまる選択肢をすべて選んでください。



求人に応募した理由（パート・アルバイト希望の場合）

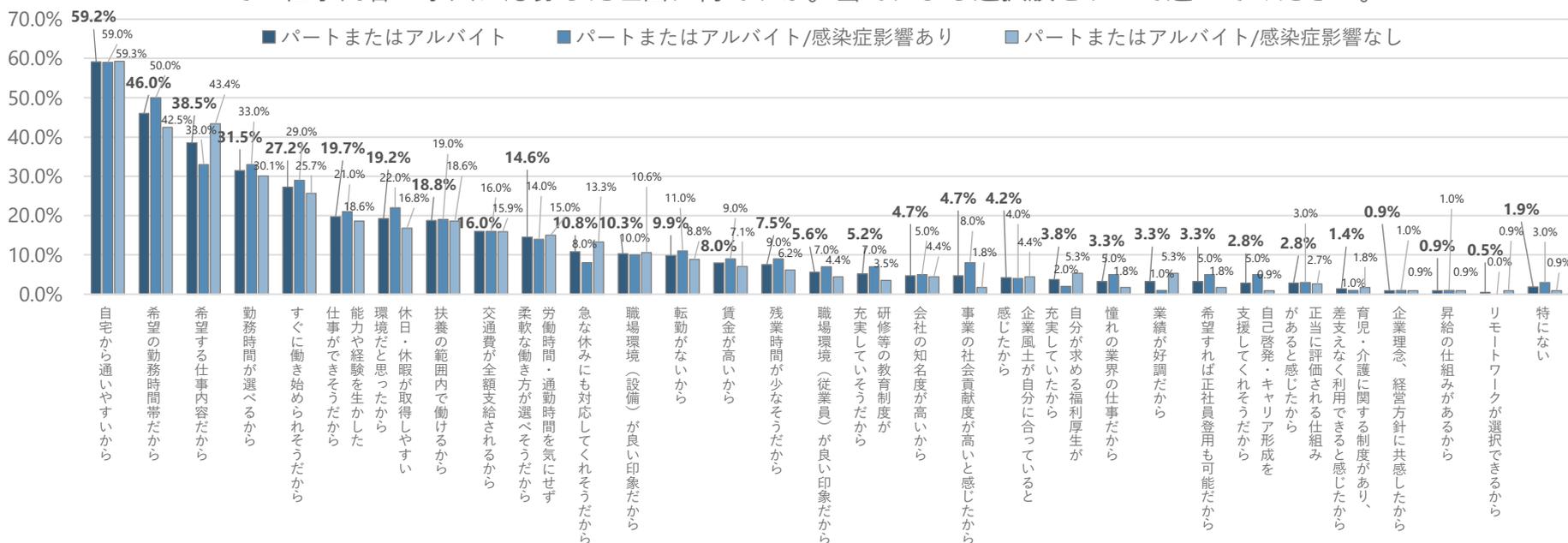
イーアイデムから求人に応募した、パートまたはアルバイト雇用を希望する人に、自身が応募した求人を選んだ理由をきいた（複数回答）。最も多かったのは「自宅から通いやすいから」で59.2%、次いで「希望の勤務時間帯だから」が46.0%、「希望する仕事内容だから」が38.5%となった。

仕事探しにおける新型コロナウイルスの影響の有無（P4参照）について、「感染症影響あり」の人は「感染症影響なし」の人よりも「希望の勤務時間帯だから」「休日・休暇が取得しやすい環境だと思ったから」「事業の社会貢献度が高いと感じたから」が5pt以上高かった。「勤務時間が選べるから」や「残業時間が少なそうだから」でも「感染症影響なし」の人より高いこともあり、より勤務時間・勤務時間帯を重視する傾向がみられる。決まった時間の勤務に絞ることで、感染リスクを最小にしておく狙いもあるだろう。

「感染症影響なし」の人は、「感染症影響あり」の人よりも「業績が好調だから」は4.3pt、「急な休みにも対応してくれそうだから」では5.2pt高かった。特に「希望する仕事内容だから」では10.3ptも差があり、より仕事内容を重視する傾向がみられる。

「自宅から通いやすいから」「扶養の範囲内で働けるから」「交通費が全額支給されるから」では、感染症の影響の有無で差がほとんどなかった。

その仕事内容の求人に応募した理由は何ですか。当てはまる選択肢をすべて選んでください。

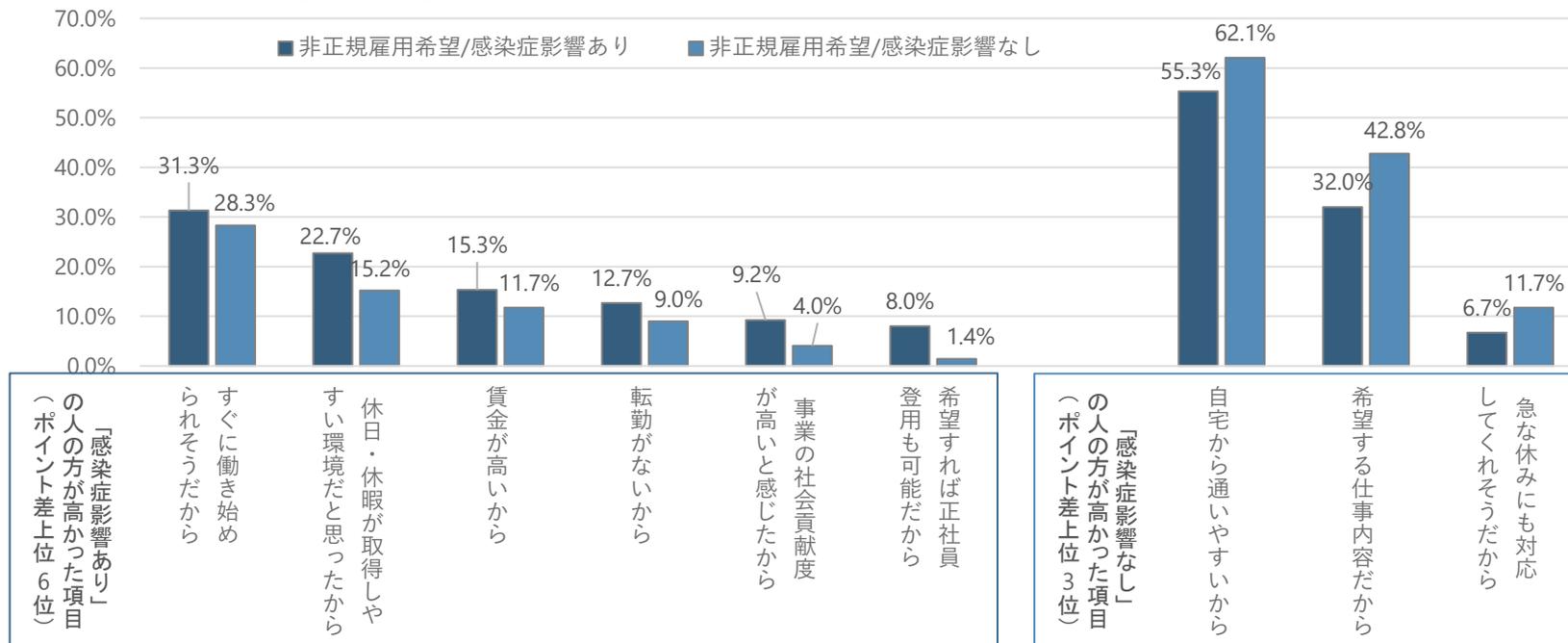


イーアイデムから求人に応募した人のうち、希望の雇用形態で「パートまたはアルバイト」「契約社員または嘱託社員」「派遣社員」を選んだ人を非正規雇用希望とし、応募理由と新型コロナウイルス感染症の影響の有無に関連があるかみた。

「感染症影響あり」とした非正規雇用希望の人は、「すぐに働き始められそうだから」「休日・休暇が取得しやすい環境だと思ったから」「賃金が高いから」等が、「感染症影響なし」の非正規雇用希望の人より高かった。「転勤がないから」や「事業の社会貢献度が高いと感じたから」、「希望すれば正社員登用も可能だから」という項目から、勤め始めは非正規であっても、いずれは正社員として長く勤められればと考えている人が一定数いるとわかる。

「感染症影響なし」とした非正規雇用希望の人は、「自宅から通いやすいから」「希望する仕事内容だから」「急な休みにも対応してくれそうだから」が、感染症影響ありの非正規希望の人より高かった。「急な休みにも対応してくれそうだから」の項目から、自身の都合に合わせてやりたいことを無理のない範囲で仕事にしたいと考える傾向がより表れている。

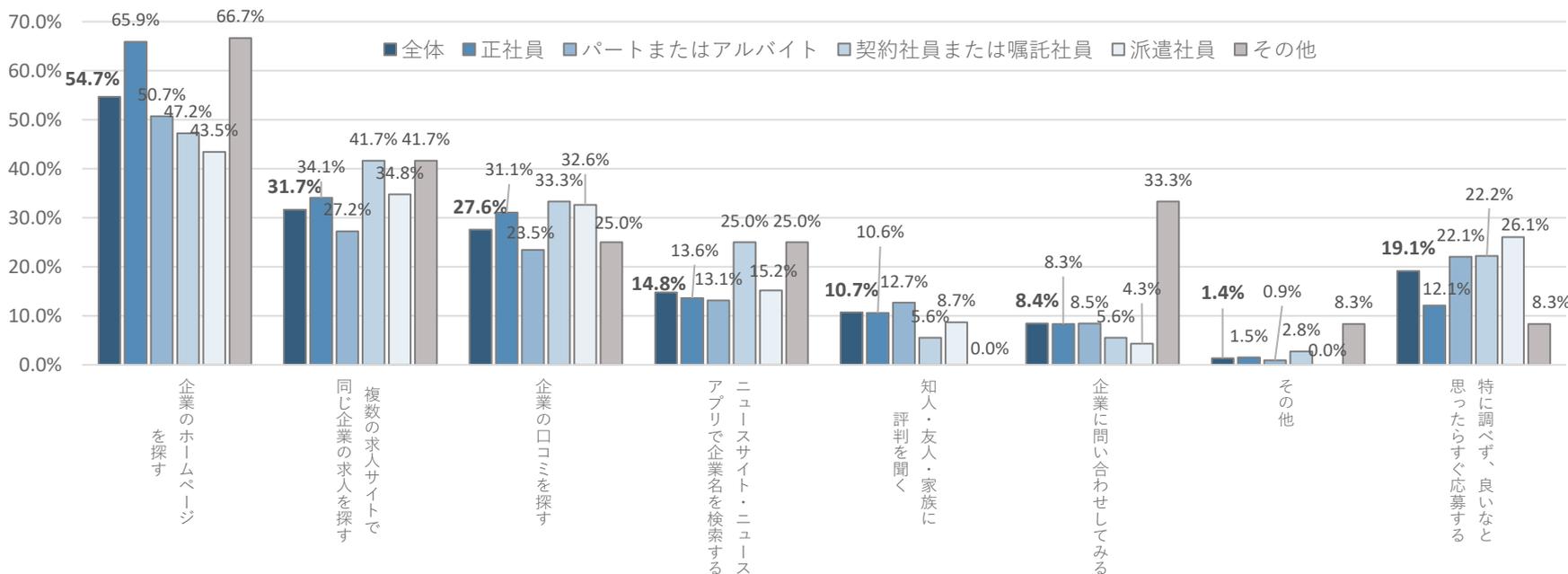
その仕事内容の求人に応募した理由は何ですか。当てはまる選択肢をすべて選んでください。



イーアイデムから求人に応募した人に、応募する前に求人企業または求人情報に関する情報収集を行うかきいた（複数回答）。「特に調べず、良いなと思ったらすぐ応募する」は全体で19.1%だった。つまり、約8割の人は何らかの方法で追加で情報収集をしていることがわかった。最も多かった方法は「企業のホームページを探す」で54.7%、次いで「複数の求人サイトで同じ企業の求人を探す」が31.7%、「企業の口コミを探す」が27.6%となっている。

希望雇用形態別にみると、正社員では特に「企業のホームページを探す」（65.9%）が他雇用形態希望者より高く、「特に調べず、良いなと思ったらすぐ応募する」（12.1%）は低い。パートまたはアルバイトでは他雇用形態希望者より「友人・知人・家族に評判を聞く」（12.7%）は高く、「複数の求人サイトで同じ企業の求人を探す」（27.2%）は低い。契約社員または嘱託社員は「複数の求人サイトで同じ企業の求人を探す」（41.7%）は高く、「友人・知人・家族に評判を聞く」（5.6%）は低い。派遣社員は「企業の口コミを探す」（32.6%）と「特に調べず、良いなと思ったらすぐ応募する」（26.1%）は高く、「企業のホームページを探す」（43.5%）は低い。派遣社員の求人では派遣先企業名が不明確な場合があり、ホームページを探すよりもまずは応募してみるというスタイルが感じられる。

求人に応募する前に、求人企業または求人情報に関する情報収集を行いますか。（複数回答）



イーアイデムから求人に応募した人に、希望する時給の目安をきいた。全体では1,000円台を望む回答が32.1%で最多だった。

希望雇用形態別に希望時給の目安をみた。

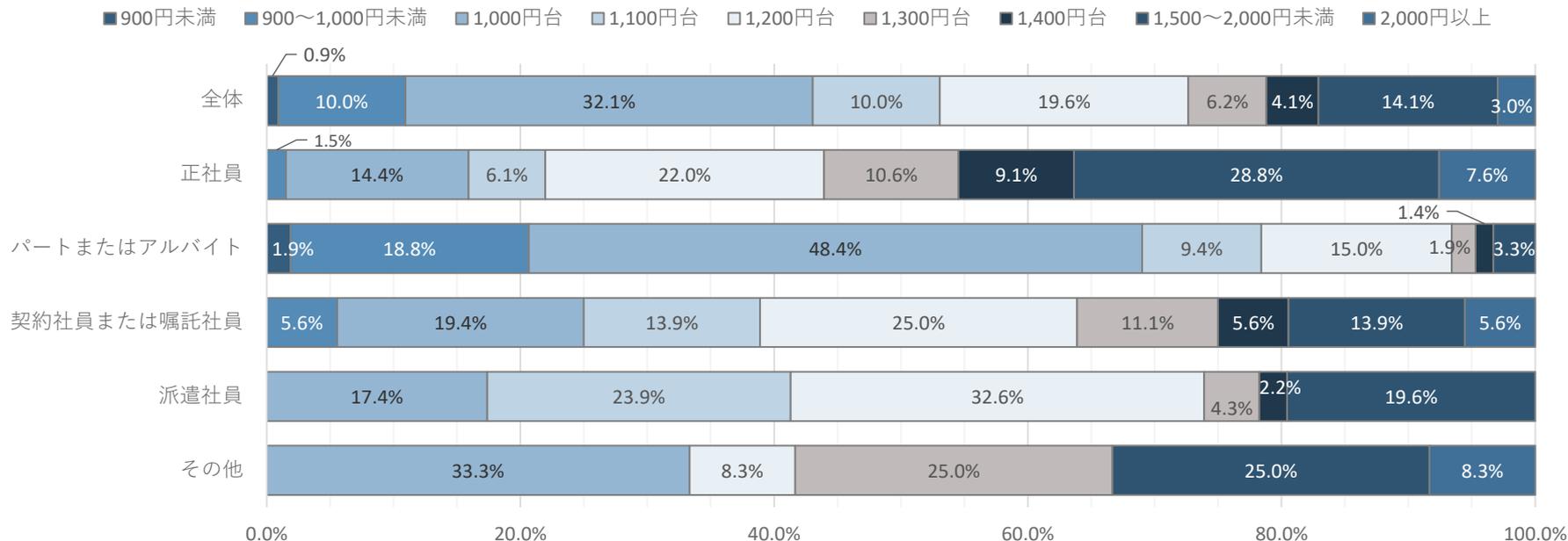
「正社員」では「1,500～2,000円未満」が28.8%で最多、「1,200円台」が22.0%で次点となっている。

「パートまたはアルバイト」では「1,000円台」が48.4%と半数近くを占めている。

「契約社員または嘱託社員」では「1,200円台」が25.0%で最多、「1,000円台」が19.4%で次点となっている。

「派遣社員」では「1,200円台」が32.6%で最多、「1,100円台」が23.9%で次点となっている。

希望する時給はどれくらいですか。目安をお答えください。



イーアイデムから求人に応募した人に、希望する月給の目安をきいた。全体では「20万円～25万円未満」22.8%、「15万円～20万円」が20.0%と拮抗している。

希望雇用形態別に希望月給の目安をみた。

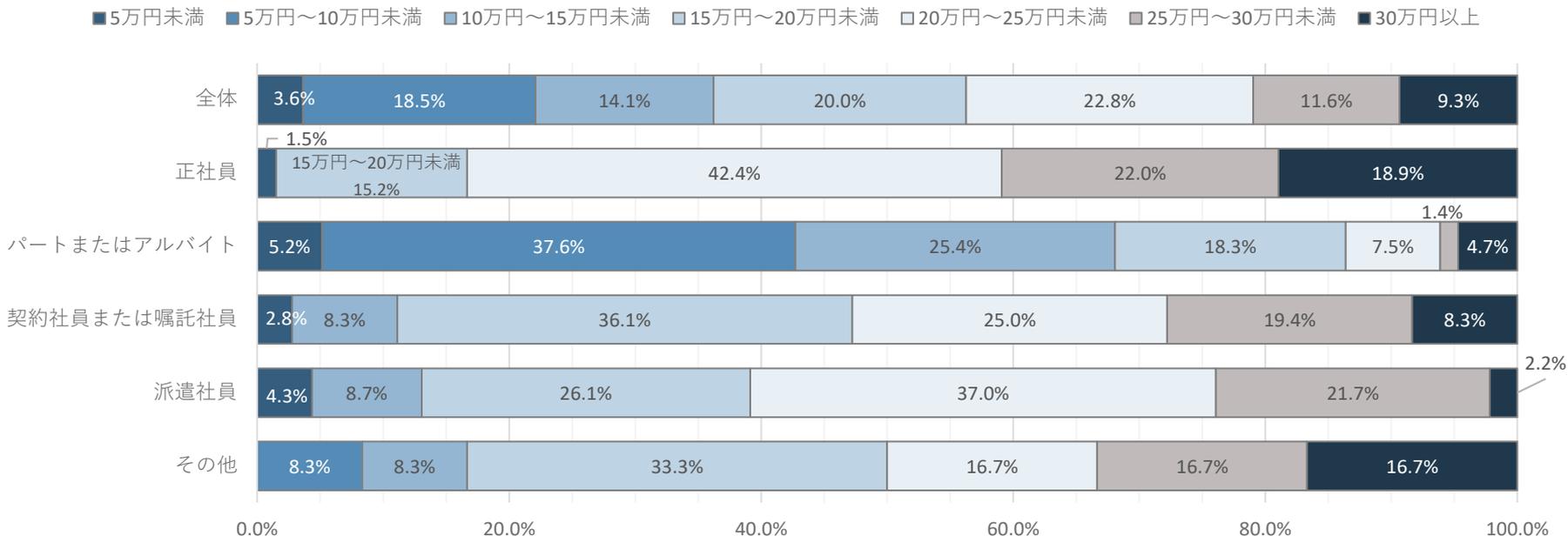
「正社員」では「20万円～25万円未満」が42.4%で最多、「25万円～30万円」が22.0%で次点となっている。

「パートまたはアルバイト」では「5万円～10万円未満」が37.6%で最多、「10万円～15万円未満」も25.4%に上る。

「契約社員または嘱託社員」では「10万円～15万円未満」が36.1%で最多、「15万円～20万円未満」が25.0%で次点となっている。

「派遣社員」では「20万円～25万円未満」が37.0%で最多、「15万円～20万円未満」が26.1%で次点となっている。

希望の働き方で得たい月の収入はどれくらいですか。



オンライン面接と直接対面面接の希望度合

イーアイデムから求人に応募した人に、採用面接が「オンライン」と「直接対面」が選択できるならどちらを希望するかを聞いた。

全体のうち、「オンライン面接を希望する」は10.0%、「どちらかと言えばオンライン面接を希望する」は18.5%となり、オンラインを選んだ人は約3割となった。「対面の面接を希望する」を選んだ割合は24.8%、「どちらかと言えば対面の面接を希望する」は46.7%となり、対面を選んだ人は約7割となった。

希望雇用形態別にみると、いずれも「どちらかと言えば対面の面接を希望する」が最も選ばれていた。オンライン面接を選んだ割合が高かったのは「派遣社員」を希望する人だった。希望が「派遣社員」の人は、新型コロナウイルスの影響で仕事探しをしている割合が多かったこともあり、派遣元会社への登録会や派遣先企業との面談における感染リスク回避、企業の感染回避策に重点を置いた企業選びを進めていると考えられる。

年代別にみると、特に30代・40代では対面を選ぶ人が多かった。一方で20代以下では「どちらかと言えば」も含め約4割がオンラインを希望している反面、「対面を希望する」割合も全体より高い3割弱だった。60代以上においてもオンラインを選ぶ人が30～50代より多かったが、「対面を希望する」割合も3割弱と高かった。

他人へ感染させない配慮や罹患時の重症化を懸念してオンライン面接を選ぶ人と、新しいツールへの抵抗や自身のアピールのしやすさから対面面接を選ぶ人とに、分かれているといえる。

採用面接が「オンライン」と「直接対面」が選択できるなら、あなたはどちらを希望しますか。

